

えーる油山

設計 アラタデザイン

施工 千早建設

所在地 福岡県福岡市

Ōi ABURAYAMA

architects: ARATA-DESIGN





地域交流の拠点となる「交流ラボ」。授産品の販売スペースとなるほか、ギャラリーや地域活動の場となる。



利用者同士の気配をやわらかく感じ合える中庭。気兼ねなく外で過ごしたり、活動できるほか、十分な採光と換気を確保する場として機能する。

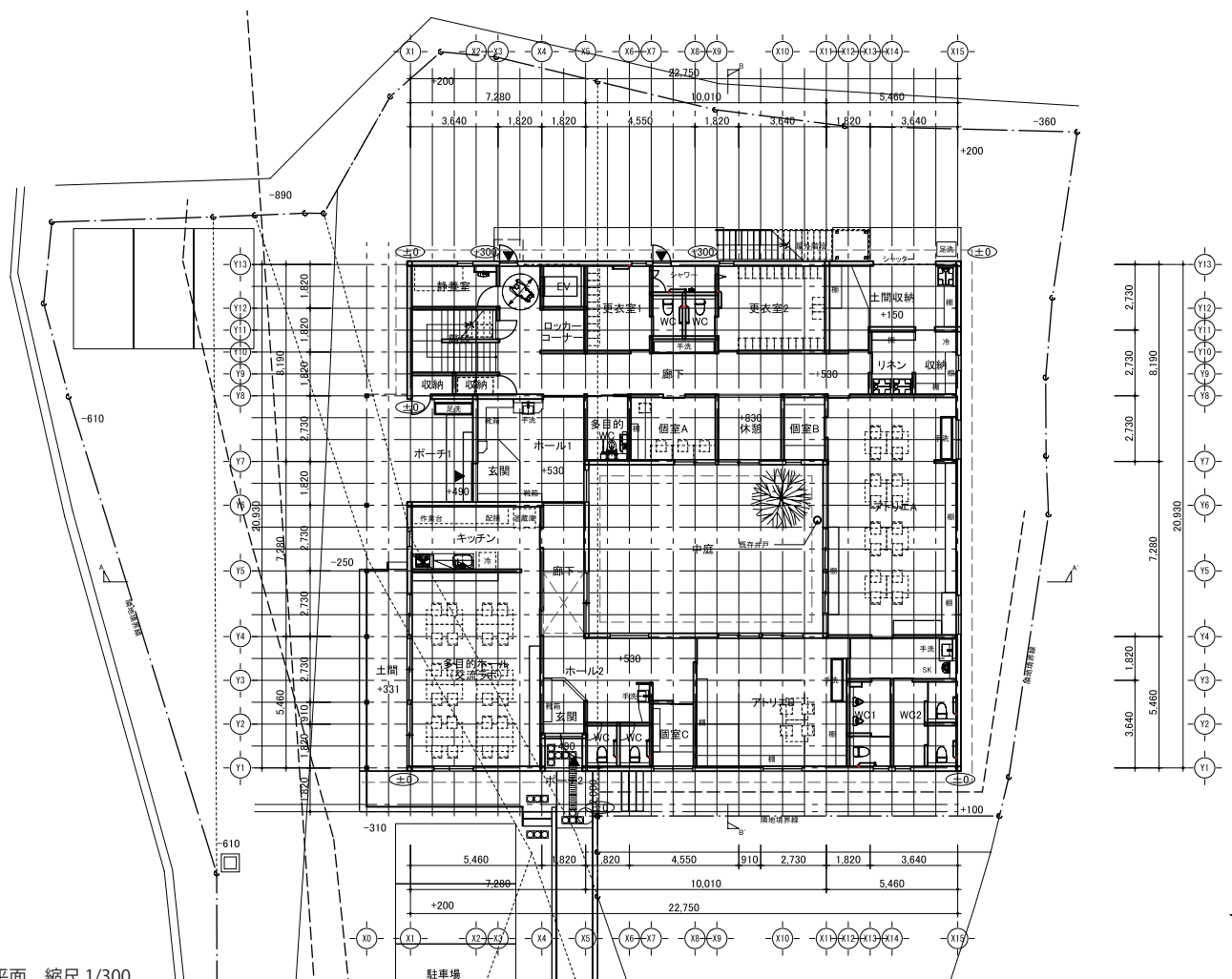
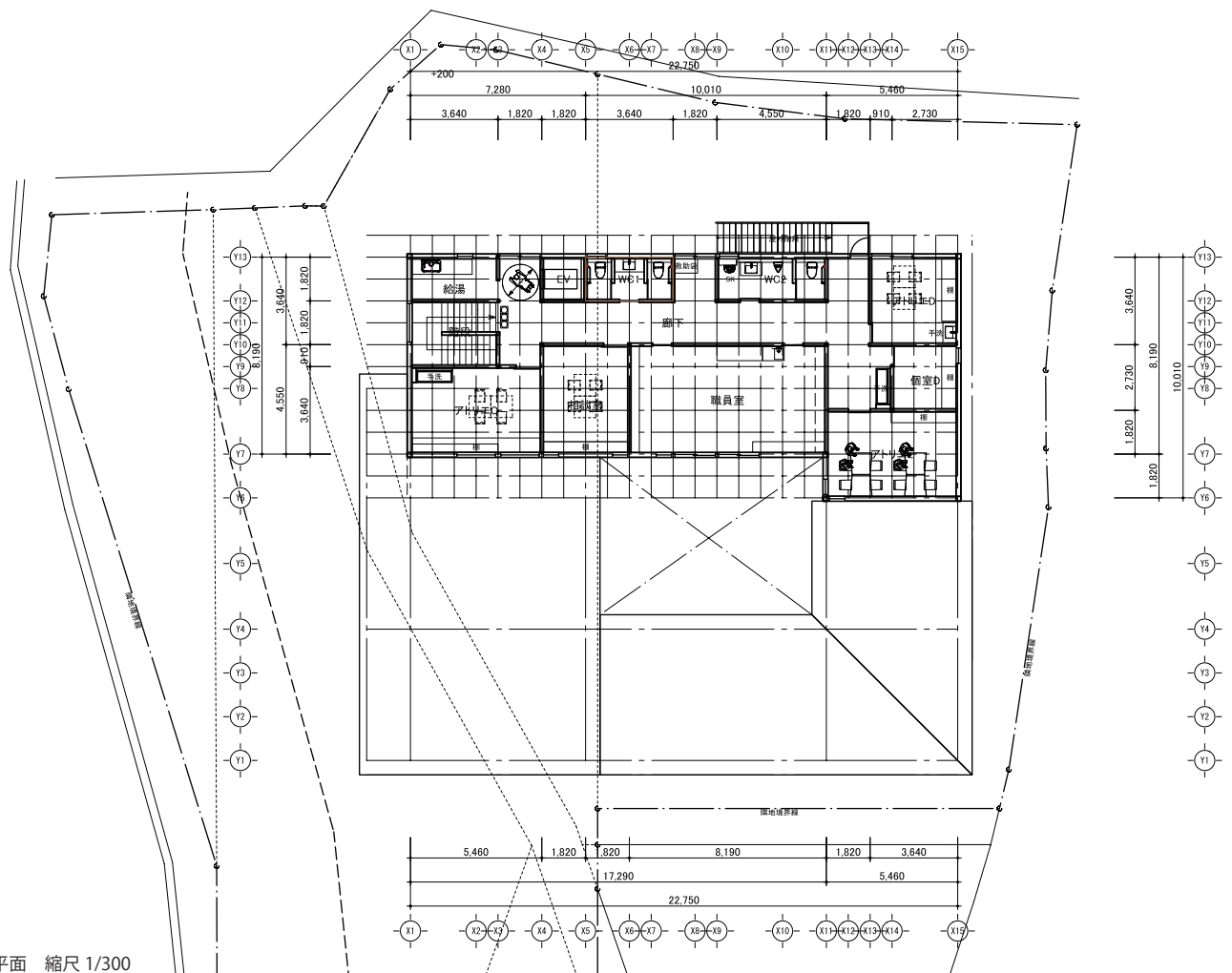


アトリエは極力機能的に授産品のための様々な道具を収納する棚を利用して、隣地への防音効果を高めている。



壁紙や床材もワークショップを開催し、スタッフとの議論を重ねて決定した。





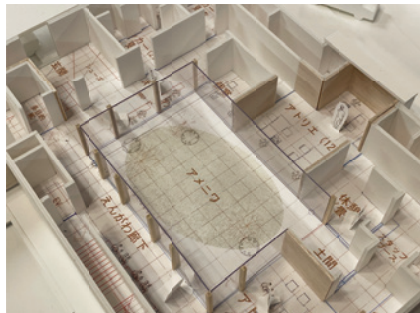




地域も利用する交流ラボが
あんだんのように暖かく地域を照らす



スタッフと地域の皆さんが施設の使い方を考える。



地域とともに育つ場

えーる油山は、知的な発達に課題を持つ仲間たちが通う生活介護施設として、地域に溶け込み、日々の延長として自然に過ごせる環境が求められた。そこで本計画では、利用者が気兼ねなく活動できるよう、敷地中央に中庭を据えた構成とした。内部には開口部をふんだんに設け、柔らかな自然光と風を取り込みつつ、外部へ声が漏れにくいように動線と配置を慎重に調整している。また、地域側の壁面には収納棚を組み込み、ローコストでありながら防音性能を高める工夫を施した。

対話から生まれた、多様性を支える空間

設計期間中は、スタッフや地域住民と複数回のワークショップを開催し、利用者の動線の在り方や、地域との接点となる「交流ラボ」の使い方について対話を重ねた。関わる人々が建築の検討プロセスに主体的に参加することで、施設は単なる福祉の場にとどまらず、地域の新たな交流と支え合いを育む拠点としての性格を帯びていった。開所してからは多目的な空間として積極的に利用されており、今後利用者からも地域からも愛され、スタッフが誇りをもって働ける場所となることを願う。

設計監理 アラタデザイン一級建築士事務所 荒田寛
構造設計 きいぶん 山下智
施工 千早建設株式会社

敷地面積 1,342.96 m²
建築面積 438.48 m²
延床面積 586.28 m²
階数 地上2階
構造 木造
BEI 0.82
工期 2024年10月～2025年6月
撮影 針金建築写真事務所 針金洋介